

令和6年12月10日  
教 育 総 務 課

## 令和6年第3回区議会定例会及び決算特別委員会における質問について

### 1. 議会日程

#### (1) 令和6年第3回区議会定例会

会 期： 令和6年9月17日（火）～10月18日（金）

① 代表質問 9月17日（火）・18日（水）

② 一般質問 9月18日（水）・19日（木）

#### (2) 令和6年決算特別委員会

審査日程： 令和6年10月1日（火）～10月15日（火）

① 総括質疑 10月 1日（火）

② 文教委員会所管質疑 10月10日（木）

③ 補充質疑 10月15日（火）

### 2. 世田谷区のホームページにおける閲覧等

区議会本会議及び決算特別委員会における全ての質問・答弁については、世田谷区ホームページ上の「世田谷区議会」の「議会中継」又は「会議録検索システム」にて閲覧可能です。

※「会議録検索システム」における決算特別委員会の質問・答弁については、12月下旬公開予定。

※令和6年第3回区議会定例会における教育（文教）領域の主な質問・答弁の要旨については、別紙のとおり。

## 【別紙】

## 令和6年第3回区議会定例会(代表・一般)における教育(文教)領域の主な質問・答弁の要旨

## &lt;代 表&gt;

※敬称略

| 項 目             | 会 派 | 質問者    | 答弁者         | 質問要旨                                                                        | 答弁要旨                        |
|-----------------|-----|--------|-------------|-----------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|
| 地域に根差した教育の推進    | 自 民 | 河野 俊弘  | 教育長         | 区は教育大綱で「人類と地球の共存」などの仰々しい言葉を並べているが、子どもたちが育つ地域に根差した教育を進めることこそ重要だ。教育長の見解を示せ。   | 地域に根差した教育が進むよう、地域と学校の連携を図る。 |
| 教育DXによる教員の働き方改革 | 自 民 | 河野 俊弘  | 教育総合センター長   | 子どもを取り巻く課題は複雑化しており、個別最適な指導の実現には教員が働きやすい環境を整える必要がある。教育DXを推進し教員の働き方改革を加速せよ。   | 教育DXを進め、子どもと向き合う時間を拡充する。    |
| HPVワクチンの接種促進    | 自 民 | 河野 俊弘  | 教育政策・生涯学習部長 | 子宮頸がんの予防にはHPVワクチンの接種が極めて重要だ。接種促進に向け、若年世代やその保護者へワクチンの有効性や安全性に係る正しい情報を発信せよ。   | 有効性や安全性について適切な情報提供に努める。     |
| 教員の働き方改革の推進     | 公 明 | 岡本 のぶ子 | 学校教育部長      | 教員の負担軽減に向けた働き方改革を推進すべきだ。教育委員会が先頭に立って教科担任制の導入に取り組むとともに、学校現場の自主的な業務改善を促進せよ。   | 現場の発想を後押ししながら改革への取組を進める。    |
| 要配慮児童への支援体制の強化  | 公 明 | 岡本 のぶ子 | 教育総合センター長   | 学校での要配慮児童への支援体制が不十分だ。個々のニーズに対応するため、学校と療育機関が就学前から密な連携体制を構築し、切れ目のない支援を実現せよ。   | 一層の連携に向け関係所管と課題を整理し検討する。    |
| 児童生徒の海外派遣事業の拡充  | 公 明 | 岡本 のぶ子 | 学校教育部長      | 我が会派は多くの児童生徒が国際交流の機会を得られるよう、海外派遣事業の拡充を求めてきた。コロナ禍で中断していた台湾などへの派遣に向けた検討を再開せよ。 | 各国の治安や情勢などに鑑み、実施の検討を進める。    |
| 子どもの権利の理解促進     | 立憲れ | 中塚 さちよ | 副区長         | 子どもと関わりの深い学校現場でも子どもの権利が十分に根づいていない現状がある。福祉部門と教育委員会の連携を強化せよ。                  | 権利学習を教員研修の重要なテーマとして定着させていく。 |

## &lt;代 表&gt;

※敬称略

| 項 目      | 会 派 | 質問者    | 答弁者 | 質問要旨                                                                     | 答弁要旨                      |
|----------|-----|--------|-----|--------------------------------------------------------------------------|---------------------------|
| 教員の働き方改革 | 立憲れ | 中塚 さちよ | 教育長 | 教員が子どもと向き合う時間を十分に確保するためには、働き方改革が急務だ。多忙化解消に向けた取組の実効性を高めるため、成果を数値化し評価検証せよ。 | 多忙化解消への変化を教員が実感できるよう取り組む。 |

## &lt;一 般&gt;

※敬称略

| 項 目             | 会 派 | 質問者     | 答弁者         | 質問要旨                                                                      | 答弁要旨                         |
|-----------------|-----|---------|-------------|---------------------------------------------------------------------------|------------------------------|
| 奥沢図書館の早期再開      | 共 産 | 川上 こういち | 教育政策・生涯学習部長 | 現在仮事務所の奥沢図書館は閲覧スペースのみで図書館機能を果たしていない。奥沢センタービルの耐震補強が困難で再開できないのならば別の場所に新設せよ。 | 耐震工事の取組を注視しつつ図書館サービスの向上を図る。  |
| 中学校の修学旅行先の慎重な選定 | 共 産 | 川上 こういち | 学校教育部長      | 5校が修学旅行先に大阪・関西万博を選定したが、会場予定地ではメタンガスの爆発事故が発生するなど安全面に大きな不安がある。教育委員会の認識を示せ。  | 子どもの安全を最優先に考慮した修学旅行とするよう努める。 |
| 学校改築時の指定校変更     | 自 民 | 加藤 たいき  | 学校教育部長      | 学校改築で仮設校舎を校庭に建設する場合、活動の場が何年も制限されるため不安を抱く家庭は少なくない。希望すれば近隣校に通学できるよう柔軟に対応せよ。 | 児童生徒それぞれの事情などを踏まえ、個別に判断する。   |
| 地下を利用した学校改築の推進  | 自 民 | 加藤 たいき  | 教育政策・生涯学習部長 | 学校改築に際し、高さ制限や容積率の問題で増築できない学校がある中、地下化は空間を生み出し災害時にも有効な手段だ。改築の考え方に地下化も含めよ。   | 周辺環境に応じ地下を含めて敷地の有効活用を十分検討する。 |
| 水泳授業の民間活用       | 自 民 | 加藤 たいき  | 教育政策・生涯学習部長 | 学校の水泳授業はプールの維持管理コストや教員の負担軽減の観点から民間施設を活用する方針に転換すべきだ。近隣に民間プールがある学校から運用を見直せ。 | 学校改築に当たり民間プール活用について検討を進めている。 |
| 学校給食での保護者負担の軽減  | 都国S | そのべ せいや | 学校教育部長      | 一部の区立小では衛生面を理由に、白衣へのアイロンがけやランチョンマットの持参が必要だ。効果が不確かであり、保護者の負担も大きい。ため早急に見直せ。 | 前例踏襲せず、必要か検討するよう校長会などで周知する。  |

## &lt;一 般&gt;

※敬称略

| 項 目             | 会 派 | 質問者     | 答弁者             | 質問要旨                                                                       | 答弁要旨                         |
|-----------------|-----|---------|-----------------|----------------------------------------------------------------------------|------------------------------|
| 学級担任への支援体制の強化   | 自 民 | くろだ あいこ | 学校教育<br>部長      | 小学校低学年の担任教員は、きめ細かな対応が必要なため負担が大きい。都の補助事業を活用し、担任を補佐する「エデュケーション・アシスタント」を導入せよ。 | ご提案の人材活用も視野に入れ学級支援の在り方をまとめる。 |
| 学校での熱中症対策       | 自 民 | くろだ あいこ | 教育政策・生涯学習<br>部長 | 学校現場で熱中症が発生した際の応急措置として、水道からホースで全身に水をかける手法は冷却効果が高く有効だ。区の学校安全対策マニュアルに取り入れよ。  | マニュアルの改訂作業を進める中で掲載について検討する。  |
| 新たな金融教育の導入      | 都国S | 佐藤 美樹   | 学校教育<br>部長      | お金のもつ役割を理解し、子どもたち自ら課題を掘り下げ、動画として発表する新たな金融教育の実践が始まっている。探究的な学びの一環として導入の検討を。  | 銀行からの指導用資料の提供など、授業充実に向け支援する。 |
| 授業中の小まめな水分補給    | 立憲れ | みや かおり  | 学校教育<br>部長      | 熱中症予防には授業中も水分補給が大切だが、判断は教師任せであり水分補給を促さない状況もあると聞く。教師個人ではなく学校が組織的に判断し対応せよ。   | 校長会を通じ、学校での具体的な対応例などを情報提供する。 |
| 子どもを取り巻くネットいじめ  | 立憲れ | みや かおり  | 学校教育<br>部長      | いじめの認知件数は減る一方、ネット上の誹謗中傷の被害件数は増加している。ネットの世界に潜り込み、外からは見えづらいいじめに対しどう対応するのか。   | 保護者も対象のリテラシー講座や相談事業の取組を進める。  |
| 不登校の子どもの孤立防止策   | 立憲れ | 原田 竜馬   | 教育総合<br>センター長   | 不登校の子どもが学校や支援機関とつながりを持てず孤立する現状が国の調査で明らかとなった。早急に区内の状況を把握し、全ての子どもの学びを保障せよ。   | 不登校支援チームの働きかけを通じて相談や指導につなげる。 |
| 起立性調節障害に対する理解促進 | 立憲れ | 原田 竜馬   | 教育総合<br>センター長   | 起立性調節障害の症状で朝、調子が悪く不登校となる児童生徒は少なくない。保護者や学校関係者などの理解促進に向け、啓発リーフレットの作成などに取り組み。 | 教員への研修の実施や保護者の理解を広げる方法を検討する。 |
| 配慮を要する子どもの学びの充実 | 生 ネ | 関口 江利子  | 学校教育<br>部長      | 障がい等、配慮を要する児童生徒に個別最適な学びを提供する体制を充実すべきだ。支援内容などを検討する機能の強化に向け、教育委員会がバックアップせよ。  | 学校現場と教育委員会とが一体となった取組を検討する。   |

## &lt;一 般&gt;

※敬称略

| 項 目             | 会 派 | 質問者    | 答弁者         | 質問要旨                                                                         | 答弁要旨                         |
|-----------------|-----|--------|-------------|------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|
| 子どもの発達特性を踏まえた支援 | 立憲れ | 中山 みずほ | 教育総合センター長   | 発達障害の子どもを適切に支援するには、発達特性の十分な理解が必要だ。学校の相談に応じる特別支援教育巡回グループの専門性や巡回頻度は足りているのか。    | 3班体制に拡充したが巡回希望が多いため一層の充実を図る。 |
| 滞在型図書館の整備       | 世田谷 | ひうち 優子 | 教育政策・生涯学習部長 | 新しくなる梅丘図書館は区民が快適に過ごせる滞在型図書館を目指すべきだ。ワーキングスペースやWi-Fi整備、カフェや多目的室の設置など多機能化せよ。    | カフェエリアの設置や閲覧席のWeb予約などを実践予定だ。 |
| 図書館のバリアフリー機能の充実 | 世田谷 | ひうち 優子 | 教育政策・生涯学習部長 | 視覚障害者や高齢者の読書環境の充実に向けて図書館のバリアフリー機能を充実すべきだ。備え付けのタブレット端末に図書を読み上げるアプリを導入せよ。      | 使いやすさなどの点から、様々なアプリを検証している。   |
| 文化芸術に触れる機会の充実   | F行革 | 田中 優子  | 学校教育部長      | 国は子どもが文化芸術に触れる機会を創出するため、体験の場を設ける学校に補助を行っている。区立校での活用実績が低調な現状に鑑み、積極的な活用を促せ。    | 校長会で周知するなど、各校で実施されるよう働きかける。  |
| 聴覚障害への理解促進      | 共 産 | 坂本 みえこ | 学校教育部長      | 手話言語条例の制定や東京2025デフリンピックの開催は子どもが聴覚障害のある方への理解を深める契機となる。手話に親しむ場や競技を観戦できる機会を設けよ。 | 競技観戦への積極的な参加を都と連携して学校に働きかける。 |
| 旧林愛作邸の保存に向けた検討  | 共 産 | 坂本 みえこ | 教育政策・生涯学習部長 | 貴重な歴史的建造物である旧林愛作邸は建物だけでなく、広い庭や景観も含めて文化財としての価値が非常に高い。保存に向けて専門家を交え多面的に検討せよ。    | 専門家などの意見を聞きながら適切な保存に向けて取り組む。 |